

2025

じん けん

参加無料  
全8回

# なるほど 人権 セミナー

テーマ  
「ともに生きる」



昨年度のセミナーのまとめ動画を  
視聴することができます



2024年度「じんけん」作品集より 水分小学校 中尾 旭陽さんの作品

それぞれに違いや個性をもったわたしたち

ともに認め合い、ともに支え合い、ともに生きるために

まずは知ること、感じること、そして思いを共有することから…

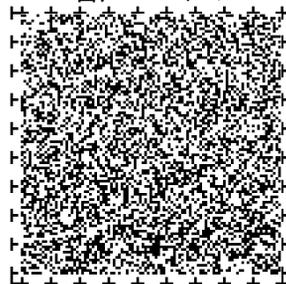
◆会場:事前申込み不要

◆後日動画配信:要申込み

◆手話通訳あり

◆要約筆記・託児(要申込み)

音声コード↓



## 人権ってみんなのもの だからみんなで考えたい

主催 久留米市・久留米市人権啓発推進協議会

8

23(土)

10:00~11:30

定員  
250人

第1回講座 三潯生涯学習センター 多目的集会室

## 部落問題と向き合う私たち

～結婚差別を乗り越えて～

講師

いしい ますみ ちあき  
石井 眞澄・千晶 さん

滋賀県の被差別部落で育った千晶さんと、家族に被差別部落出身者との交際を反対された眞澄さん。2007年の結婚を機に夫妻で部落差別と向き合ってきた経験を伝える講演活動を全国各地で展開。力を合わせて幾多の困難を乗り越えてきた経験から、学びと出会いを積み重ねて部落差別と向き合い生きていく大切さについて、発信を続けている。

9

20(土)

10:00~11:30

定員  
240人動画配信  
あり

第2回講座 えーるピア久留米 視聴覚ホール

## あふれでたのはやさしさだった

～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～

講師

作家

りょう みちこ  
寮 美千子 さん

1955年、東京生まれ。1986年、毎日童話新人賞を受賞してデビュー。2005年、泉鏡花文学賞を受賞。2006年、首都圏から奈良に移住。2007年～2016年、奈良少年刑務所で社会性涵養プログラム講師を務め、「絵本と詩の教室」を通して、閉じてしまった少年たちの心の扉を開いていった。幼年童話から絵本・純文学・ノンフィクションまで幅広く執筆。

10

8(水)

18:30~20:00

定員  
200人動画配信  
あり

第3回講座 久留米市役所2F くるみホール

## 未来に紡ぐ絵本として

～つるつるのおとうと～

講師

もり たかふみ

熊本県立第一高等学校 教諭 森 孝文 さん



鹿児島大学教育学部を卒業、さらに大学院に進学し鹿児島大学農学部農学研究科卒業後、熊本県で高等学校の教職に就く。汎発性円形脱毛症(全身脱毛)の我が子に対する周囲の中傷やかからかいに家族として胸を締め付けられた経験をもとに、絵本「つるつるのおとうと」を製作。熊本県内の保育園や小学校等を回り、絵本の寄贈を行いながら啓発活動を展開。

10

24(金)

18:30~20:00

定員  
200人

第4回講座 久留米市役所2F くるみホール

こんな時だから、  
事業所だからできること

～高齢者施設が地域とともに生きることを通して～

講師 (株) いちようの杜 施設長

ほりえ ももこ

堀江 桃子 さん



久留米市内にグループホーム(認知症対応型共同生活介護)、有料老人ホームなどを運営。そのかわら、久留米市キャラバンメイト連絡会理事長、久留米市介護福祉サービス事業者協議会理事等を務め、認知症を広く理解してもらうべく活動を展開している。自身が運営する事業所を地域に開き、互いに顔見知りになることを通して地域力を上げることを目指している。

11  
12(水)  
18:30~20:00

定員  
200人

動画配信  
あり

第5回講座 久留米市役所2F くるみホール

## 血縁のない大家族のつくり方 ～5年間の「じじっか」から見えてきたこと～

講師 一般社団法人umau. (じじっか) 代表

なかむら みちこ

中村 路子 さん



久留米市生まれ。女性が好きなことを仕事にするワーキングスペースや、小さなエリアで地域を考える「くるめ10万人女子会」などを展開。2020年、血縁のない大家族づくり子育て拠点「じじっか」を立ち上げ、一般社団法人umau. (ウマウ) を設立。一人親家庭を中心に約300世帯が所属し、「実家よりも実家」をコンセプトに様々な活動を展開中。

11  
28(金)  
18:30~20:00

定員  
200人

動画配信  
あり

第6回講座 久留米市役所2F くるみホール

## アフガンと共に生きた 中村哲医師の信念 ～一隅を照らす～

講師 西日本新聞社

なかはら こうへい

編集局報道センター部 次長 中原 興平 さん



2002年西日本新聞社入社。久留米総局、編集局社会部、大村支局長、クロスメディア報道部デスクなどを経て、2023年8月から現職。2014年、アフガニスタンで人道支援に尽くした、故中村哲医師を現地で密着取材し、再審請求中の「飯塚事件」の検証取材も担当。全国水平社創立100年の節目を見据えた長期企画「人権新時代」で2023年度の新聞協会賞を受賞。

12  
17(水)  
18:30~20:00

定員  
240人

第7回講座 えーるピア久留米 視聴覚ホール

## 久留米藩における宗教と人権 ～したたかに生きた人々の証～

講師 久留米部落史研究会 理事

ほりた ひでしげ

堀田 秀茂 さん



2012年、うきは市立吉井中学校長を最後に教育職を退職。その後も、久留米部落史研究会理事として、ライフワークである久留米藩における部落史や、江戸期に弾圧された「かくれキリシタン」「潜伏キリシタン」について調査し、確かな史実の紹介と、したたかに生きた民衆のあしあとを辿るための、様々なフィールドワークの講師として活動している。

2026  
1  
28(水)  
18:30~20:00

定員  
240人

動画配信  
あり

第8回講座 えーるピア久留米 視聴覚ホール

## 「きこえるせかい きこえないせかい」 から思うこと

～障害とはなにかを改めて問う～

講師 福岡ろう劇団博多 代表

すずき れお

鈴木 玲雄 さん



滋賀県大津市生まれ。2歳半のころ、原因不明で混合性難聴になる。滋賀県聾話学校幼稚部卒業後、大学まで普通学校に進学。高校時代に演劇部の文化祭発表に惹かれ、俳優活動を始める。現在は、1992年2月に演劇好きな聴覚障害者と手話の会のメンバーが集まって結成された「福岡ろう劇団博多」主宰として「多くの方々に拓かれた演劇」を模索中。